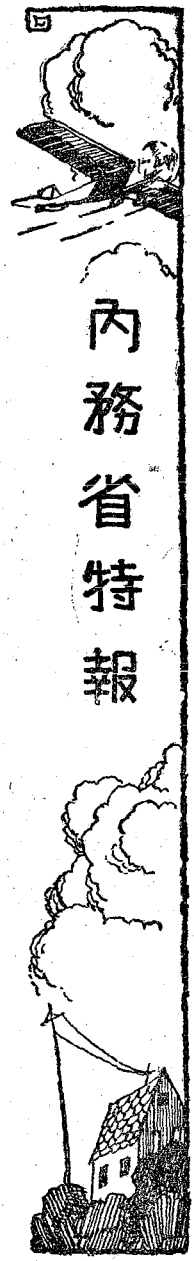

◎平沼、田邊兩大臣の挨拶

七月十九日午前十一時三十分廳員一同第一會議室に參集、平沼國務大臣は「私は今回國務大臣となり、田邊氏を後任として內務大臣となられた。昨年內務大臣となりしより此方諸氏の御援助によりたるものと感謝に堪へない。今や非常の時局に際會して之を國內より見るも、將亦世界の態制より見るも容易ならざる時である。諸氏は天皇陛下に對し奉り萬腔の赤誠を披瀝して御盡力あらんことを。後任田邊氏は學識經驗に富み且大阪府知事をも勉められたれば內務行政には通曉せられるが、私に對すると同樣御援助を願ふ次第である。今日迄の諸氏の御交誼は忘るゝ能はざる所である。別れに臨み一言所懷を述ぶる」との主旨を告げられ、新大臣田邊治通氏は「今回圖らずも本省の役人と成り諸君と共に內務行政にたづさはることゝなりました。微力短才其任にあらざるも唯諸君の援助によりて其職を盡すの外はない。平沼閣下は總てに秀られたるも顧みて私は甚だ心細きを感ずる。平沼閣下の申された通り時局は益々多事である。私は心からなる諸君の御援助を願ふ次第である」との主旨を以てし、菅場次官は「廳員一同を代表して一言御挨拶を述べる。平沼閣下が內務大臣となられしは昨年十二月で漸く七ケ月に過ぎず。然るに今回國務大臣として本省を去らるゝ事は惜むべきことである。閣下の心から親愛なる心持ちは決して忘るゝ能はざる所である。此際本省を去らるゝ事は愛惜の情に堪へない。只今も申さるゝ通り大變な時局であるから一層高き立場に立ちて國家の爲めに盡さるゝことであれば、國家の安機は一にかゝつて閣下の双肩にかゝる次第である。願くば自重自愛あらんことを。又田邊新大臣に於かせられては其經綸計畫の尋常ならざるは夙に承知して居る處である。閣下を通して其意圖の存する所を表はすことに努めたい。宜しく御指導あらんことを願ふ次第である」との意を述べて答辭とした。

第三次近衞內閣閣員一覽表

		年齡・出身地・出身校	位階勳等	職歷	家族	住所
內閣總理大臣	近衞文麿	五十一歲 東京府 京都帝大	從二位勳一等 公爵	元樞密院議長 內閣總理大臣	每、妻。二男一女	杉並區西田町一ノ七四二(電・荻窪五〇〇〇)
外務大臣兼拓務大臣	豐田貞次郎	五十七歲 和歌山縣 海軍大學	從三位勳一等 海軍大將	前商工大臣	妻・三男二女	淀橋區下落合一ノ四七三ノ九(電・大塚六九)
內務大臣（新任）	田邊治通	六十四歲 山梨縣 東京帝大	從三位勳二等	元遞信大臣、貴族院議員、大日本飛行協會々長	妻・一男	淀橋區下落合一ノ五五三(電・大塚七八〇〇)
大藏大臣	小倉正恒	六十七歲 石川縣 東京帝大	從三位勳三等	前住友本社取締役總理事、前國務大臣、貴族院議員	妻・六男	淀橋區西大久保一ノ四一六(電・四谷六三四)
陸軍大臣	東條英機	五十八歲 東京府 陸軍大學 陸軍士官學校期	從三位勳一等 陸軍中將	陸軍大臣	妻・三男四女	世田谷區北澤二ノ二五(電・世田谷四〇〇二五、澁谷一五〇〇)
海軍大臣	及川古志郎	五十九歲 岩手縣 海軍大學 海兵	正三位勳一等 海軍大將	海軍大臣	妻・二男	淀橋區西大久保三ノ九一(電・四谷一一一八)
文部大臣	橋田邦彥	六十 鳥取縣 東京帝大	從三位勳二等 醫學博士	文部大臣	妻・一女	杉並區荻窪一ノ一五九(電・荻窪三一七八)
司法大臣	岩村通世	五十八歲 高知縣 東京帝大	從三位勳二等	前檢事總長	妻・四男二女	杉並區荻窪二ノ一〇三(電・荻窪四一七八)

農林大臣	井野碩哉	五十一歳	三重縣	東京帝大	從三位勳二等	農林大臣	妻・二男 三女
商工大臣（任新）	左近司政三	六十三歳	山形縣	海軍大學	從三位勳一等	元海軍次官、元佐世保鎮守府司令長官、北樺太石油社長	妻・一女
遞信大臣 兼鐵道大臣	村田省藏	六十四歳	東京府	東京高商	從三位	元大阪商船社長、遞信大臣 貴族院議員	母・妻・二男一女
厚生大臣（任新）	小泉親彦	五十八歳	福井縣	東京帝大	正四位勳二等	元陸軍々醫學校長、元陸軍省醫務局長	
無任所大臣	平沼騏一郎	七十五歳	岡山縣	東京帝大	正二位勳一等 男爵	前內務大臣 元內閣總理大臣	
無任所大臣	柳川平助	六十三歳	佐賀縣	陸軍大學	正三位勳一等 功五級	前司法大臣	妻・二男 四女
內閣書記官長	富田健治	四十五歳	京都府	京都帝大	從四位勳三等	內閣書記官長	妻・二男
法制局長官	村瀨直養	五十二歳	名古屋市	東京帝大	從三位勳二等	法制局長官	妻・二男 二女
情報局總裁	伊藤述史	五十六歳	愛媛縣	神戸高商	從三位勳一等	元全權公使 情報局總裁	母・妻・二男

澁谷區青葉町三（電・青山二一三六）

大森區田園調布二ノ七五六（電・田調三一〇一）

澁谷區神山町二一（電・澁谷三三〇〇）

淀橋區西落合一ノ一六五（電・大塚二六八〇）

淀橋區西大久保一ノ四二九（電・四谷一一八一）

澁谷區千駄谷五ノ九一一（電・四谷七〇八七）

澁谷區美竹町五番地（電・青山二〇五）

麹町區三番町六番地ノ一（電・九段二三五三）

本郷區駒込林町一九六（電・駒込一二五）

世田谷區代田一ノ六三五ノ一（電・松澤三九五九）